

瀬戸内海に浮かぶ大崎下島
江戸時代の港町・御手洗

国選定・重要伝統的建造物群保存地区



歴史の見える丘公園から御手洗・瀬戸内海を望む

大崎下島の東にある御手洗は、江戸時代に風待ち・潮待ちの港町として繁栄しました。西日本全体の物流拠点として、沢山の北前船が入港し、花街御手洗としても栄華を極めました。現在も江戸後期から昭和初期の建物が数多く残り、平成6年から町全体が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。風情ある町並みと美しい瀬戸内の風光明媚な景観は訪れる人を温かく迎えてくれます。日本人が大切にしてきた原風景がここ、御手洗にあります。



御手洗の船

画：田坂啓三



- 切手と写真部分を郵便物に貼って、ご利用いただけます。写真部分だけでは、切手としてご利用いただけません。
- 郵便料金納付のためにこの切手をご利用の場合、写真部分に消印がかかることがあります。

△愛知刷版株式会社製



【切手選定理由】

映画等の舞台にもなっている大崎下島周辺を多くの方に知っていただけるよう企画しました。題材には国選定の重要伝統的建造物群保存地区「御手洗」を選定しています。